

感謝

1年間お世話になりました

昆陽自治会
執行部一同



班長・組長の皆様、1年間お疲れ様でした。今年度もコロナ禍の中、役員としての業務大変だったと思います。会員の皆様と自治会活動をつなぐ大切な役割を担っていただきました。

4月からも、昆陽自治会にお力をお貸しく下さい。どうぞよろしくお願い致します。

防災委員会・環境委員会・広報委員会の皆様、自治会の中核となる重要な部分にご尽力いただき、ありがとうございました。自治会の方針を具現化する立場として、ご活躍いただきました。

今後も昆陽自治会のために、どうぞよろしくお願い致します。

今年度は、自治会活動を予想以上に実施することができました。また、自治会執行部への相談事も数多くありました。そんな中で、多くの方々とお話する機会に恵まれ、多様な考えがあることを改めて感じる事ができました。

課題解決に向けては、いろんな意見がぶつかり合うこともありましたが、だれもが地域社会や人間関係が穏やかで安定していることを望んでおられるのだとわかりました。

「他者への想像力」と「ほんの少しの優しさ」がわがまち昆陽の安寧な日々を送る原動力になることを再確認いたしました。

「希望」のあるところにしか「未来」はないと信じ、来年度へ向けてスタートします。



令和5年度 定期総会
5月13日(土) 19:00~
昆陽センター



昆陽自治会HP

自主防災会より(連載6)

昆陽は安全ですか？②

—いざという時の危険回避—

地震の激しい揺れを感じた時、もしエレベーターの中にいたらどうしますか？

職場のビルや自宅がマンションなど、普段からエレベーターを利用している方も多そうですね。

エレベーターが緊急停止したら焦ってしまいますが、まず、全階のボタンを押すことです。そして最初に停止した階で降りるのです。新しい機種では、自動的に最寄りの階に停止するようになっているようですが、すべてにその機能があるわけではありません。

もし閉じ込められたら、非常用のインターホンで救助を要請しましょう。外部に必ず連絡できるようになっていますが、つながらなければ携帯で消防署などに連絡することです。扉を無理に開けたり、天井から脱出しようとしたりすると、事故の危険性が高まります。心細いですが、落ち着いて救助を待つことが大切です。

だれもがいつも安全な場所にいるわけではありません。さまざまな場合(場所・時間)を想定して、普段から迅速な避難(身の安全確保)の方法を考えておくことが重要です。突然の地震から身を守ることを改めて考えておきましょう。



訃報

松本 忠雄様 82 令和5年2月24日 12班7組
謹んでお悔やみ申し上げます

※このイラストは、
昆陽在住の女子高生の
オリジナルです

